

令和8年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 109

千葉県立館山総合高等学校 全日制の課程 工業科

1 期待する生徒像

本校において、規律を守り、一般的な教養を高めるとともに専門的な知識・技術を身につけるための適性を有する生徒で、次のいずれかを満たす者

- ア 工業科に興味関心を持ち、その専門教育を学ぶための学力が身につけている者
- イ 基本的な生活習慣が身につけており、中学校において積極的に学校生活を過ごした者
- ウ 生徒会活動や部活動においてよく努力し、その活動を入学後も継続しようとする者
- エ 将来に対する具体的な進路目標を持ち、その実現のために本校で学習して社会的自立を達成しようとする者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：1人10分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 [135点満点]

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 第3学年で評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	記載内容について、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接 [84点満点]

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを7点、bを4点、cを1点とし、3名の評価者の評価（各28点満点）を合計し、得点化する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 態度・身だしなみ・応答	基本的な面接作法が身についている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 質問内容を的確に理解し、わかりやすく適切に回答することができる。
イ 学校生活への意欲	中学校時代に頑張ったこと等について、具体的に回答することができる。 特別活動や部活動等への意欲を持っている。
ウ 志望の動機・理由	志望の動機が明確である。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 興味・関心	志望学科への興味・関心を持っている。

4 選抜方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の 得点	調査書の得点	学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	面接	
500点	135点	84点	719点

令和8年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 109

千葉県立館山総合高等学校 全日制の課程 商業科

1 期待する生徒像

本校において、規律を守り、一般的な教養を高めるとともに専門的な知識・技術を身につけるための適性を有する生徒で、次のいずれかを満たす者

ア 商業科に興味関心を持ち、その専門教育を学ぶための学力が身につけている者

イ 基本的な生活習慣が身につけており、中学校において積極的に学校生活を過ごした者

ウ 生徒会活動や部活動においてよく努力し、その活動を入学後も継続しようとする者

エ 将来に対する具体的な進路目標を持ち、その実現のために本校で学習して社会的自立を達成しようとする者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：1人10分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 [135点満点]

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 第3学年で評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	記載内容について、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接 [84点満点]

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを7点、bを4点、cを1点とし、3名の評価者の評価（各28点満点）を合計し、得点化する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 態度・身だしなみ・応答	基本的な面接作法が身についている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 質問内容を的確に理解し、わかりやすく適切に回答することができる。
イ 学校生活への意欲	中学校時代に頑張ったこと等について、具体的に回答することができる。 特別活動や部活動等への意欲を持っている。
ウ 志望の動機・理由	志望の動機が明確である。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 興味・関心	志望学科への興味・関心を持っている。

4 選抜方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の 得点	調査書の得点	学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	面接	
500点	135点	84点	719点

令和8年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 109

千葉県立館山総合高等学校 全日制の課程 海洋科

1 期待する生徒像

本校において、規律を守り、一般的な教養を高めるとともに専門的な知識・技術を身につけるための適性を有する生徒で、次のいずれかを満たす者

ア 海洋科に興味関心を持ち、その専門教育を学ぶための学力が身につけている者

イ 基本的な生活習慣が身につけており、中学校において積極的に学校生活を過ごした者

ウ 生徒会活動や部活動においてよく努力し、その活動を入学後も継続しようとする者

エ 将来に対する具体的な進路目標を持ち、その実現のために本校で学習して社会的自立を達成しようとする者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：1人10分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 [135点満点]

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 第3学年で評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	記載内容について、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接〔84点満点〕

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを7点、bを4点、cを1点とし、3名の評価者の評価（各28点満点）を合計し、得点化する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 態度・身だしなみ・応答	基本的な面接作法が身についている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 質問内容を的確に理解し、わかりやすく適切に回答することができる。
イ 学校生活への意欲	中学校時代に頑張ったこと等について、具体的に回答することができる。 特別活動や部活動等への意欲を持っている。
ウ 志望の動機・理由	志望の動機が明確である。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 興味・関心	志望学科への興味・関心を持っている。

4 選抜方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

学力検査の 得点	調査書の得点	学校設定検査の得点	総得点
	評定（K＝1）	面接	
500点	135点	84点	719点

令和8年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 109

千葉県立館山総合高等学校 全日制の課程 家政科

1 期待する生徒像

本校において、規律を守り、一般的な教養を高めるとともに専門的な知識・技術を身につけるための適性を有する生徒で、次のいずれかを満たす者

ア 家政科に興味関心を持ち、その専門教育を学ぶための学力が身につけている者

イ 基本的な生活習慣が身につけており、中学校において積極的に学校生活を過ごした者

ウ 生徒会活動や部活動においてよく努力し、その活動を入学後も継続しようとする者

エ 将来に対する具体的な進路目標を持ち、その実現のために本校で学習して社会的自立を達成しようとする者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：1人10分程度

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 [135点満点]

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 第3学年で評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	記載内容について、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接 [84点満点]

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを7点、bを4点、cを1点とし、3名の評価者の評価（各28点満点）を合計し、得点化する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 態度・身だしなみ・応答	基本的な面接作法が身につけている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 質問内容を的確に理解し、わかりやすく適切に回答することができる。
イ 学校生活への意欲	中学校時代に頑張ったこと等について、具体的に回答することができる。 特別活動や部活動等への意欲を持っている。
ウ 志望の動機・理由	志望の動機が明確である。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 興味・関心	志望学科への興味・関心を持っている。

4 選抜方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の 得点	調査書の得点	学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	面接	
500点	135点	84点	719点